

運送で緊急の荷物が出ましたら、まずはご連絡ください。関西地区の物流のお悩みは、協和運送が解決いたします。

1月号

月刊 協和運送便



協和運送株式会社

TEL:0800-200-7797

FAX:06-6916-6911

info@kyowa-u.com

今月の社長メッセージ



代表取締役 松本 理智

皆様、明けましておめでとうございます。弊社も今年で創業41期！皆様のおかげをもちまして無事にスタートを切ることが出来ました。今年の干支は『羊』と言う事もあり、弊社の年間テーマも『仕事と家族』になりました。そのわけは、羊と言う動物は、一頭の羊の元に集まり、団体で行動する習性を持っております。そのような事から、会社組織に良く似ているのではないかと思います。テーマ『仕事と家族』ということで、スタッフ家族を巻込んでの運営を考えております。皆様、今年も協和運送(株)をよろしくお願い致します。

今月の社員メッセージ

明けましておめでとうございます。年明け最初の担当をさせていただきます渡辺です。皆さま、正月はどのようにお過ごしでしたでしょうか？私は普段、家のことを何もせずほったらかし…嫁に捨てられるのではないかと不安を抱きつつ、たまには孝行をしようと嫁が出かけている際に、晩御飯の用意をしてみました。メニューは、「おせちも良いけどカレーもね！！」だいたい古い…カレーとから揚げ！！もちろんサラダも！！効果は絶大でした(笑)今年も夫婦円満確定！！仕事も頑張りますよ！！



渡辺和美



こんな問い合わせがありました。

～問い合わせ内容～

縫製用機械を大阪市中央区から青森市内の展示会場まで運んでほしい。

協和運送の『NEVER SAY NO』担当:福永 和彦

今回のご依頼は、木箱L2700mm×W630mm×H400mmに入った縫製用機械約130kgを大阪市中央区から青森市内の展示会場まで運びたいが、荷物の長さ大きさから路線会社では対応してもらえず、困っているとの事でした。木箱が1つであることから、直ぐに混載便の提案と料金の提示をさせて頂き、自車の配車担当と相談の上、青森市までの混載便を決定しました。東北地方へ向けての混載便の実績はあまり無かったのですが、お客様と相談の上、着日と着時間の指定を外していただくことにより、実現しました。100%お客様の望み通りとは行きませんが、何とかお届けしたいという気持ちが伝わったのでしょうか？色々調整をいただき感謝しております。その後も東北だけでなく、各地への見積もり依頼、輸送依頼を頂いております。

お客様のヒトコト

急な依頼にも関わらず、色々な角度からの提案と、何とかしようという気持ちが伝わってきました。普段は、自社社員がレンタカーなど借りて運搬していたのですが、どうしても青森までの長距離であることと、予定の調整がつけられないことで展示会場までの輸送手段に困っておりました。今後も頻繁にはいきませんが、自社での運搬が出来ないときには相談させてもらいますので、今後とも宜しくお願いします。